

2022年度「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」
履修生願書(1-1)

東北学院大学

ふりがな			性 別	【写真貼付欄】 ①脱帽 ②3ヶ月以内に撮影したもの ③写真の裏面に氏名を記入してから貼付のこと ④縦4cm×横3cm
氏 名			男 ・ 女	
生年月日	年 月 日 (満 歳)	※本籍・国籍 都 道 府 県 (国籍は外国籍の方のみ記入)		
電 話	自宅 () 携帯 ()			
現 住 所	〒 -			
E-mail				
(高等 学校 から 記入)	在 学 期 間	学 校 名 (学部学科等まで記入)		卒 業・修 了・退 学
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
(直近のものから順に記入)	在 職 期 間	勤 務 先 名		所 在 地 (都道府県・市区町村まで記入)
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
志 望 理 由				

2022 年度「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)スキルアッププログラム」履修生願書(1-2)

受講を希望する科目の「履修有無」欄に丸印を付してください。なお、**選択科目は時間数の合計が 63 時間以上**となるようにしてください。

分類	履修有無	科目名	時間	内容
必修科目	基礎科目	<input type="radio"/> 地域福祉の時代とコミュニティソーシャルワーク	3	・自助・共助・公助の福祉ミックス・地域福祉をめぐる政策の動向
		<input type="radio"/> コミュニティソーシャルワーク I	3	・コミュニティソーシャルワーク
		<input type="radio"/> コミュニティソーシャルワーク II	3	
		<input type="radio"/> ケースワーク	3	・個別支援・相談援助、面接技術
		<input type="radio"/> 社会保障制度の新たな動向 I	3	・社会保障、制度改革、課題と展望 ・宮城県と仙台市の社会福祉の現状と課題
	<input type="radio"/> 社会保障制度の新たな動向 II	3		
	<input type="radio"/> コミュニケーション基礎論と ICT 活用	3	・ソーシャルワークやファシリテーションを効果的に進めるコミュニケーションの役割について理解する	
	必須理論	<input type="radio"/> データによる社会調査・分析(社会疫学) I	3	・アンケート調査の実際 ・統計ソフトを使った分析の実際
		<input type="radio"/> データによる社会調査・分析(社会疫学) II	3	
		<input type="radio"/> データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) I	3	・社会調査としてのライフストーリー聞き取り
		<input type="radio"/> データによる社会調査・分析(ライフストーリー聞き取り) II	3	
		<input type="radio"/> 地域の施策と資源理解 I	3	・福祉の担い手とその役割と現状 ・地域福祉資源の抱える課題と解決策
		<input type="radio"/> 地域の施策と資源理解 II	3	
		<input type="radio"/> 地域社会と CSR(企業の社会的責任)	3	・企業の社会的責任の正確な理解と現代的潮流 ・社会貢献を視点とする企業と地域社会との関係性
		<input type="radio"/> 組織運営	3	・リーダーシップと組織のマネジメント ・人的資源マネジメント・地域住民の組織化
		<input type="radio"/> 地域福祉活動計画 I	3	・実例に基づく地域福祉活動(支援)計画の理解 ・地域福祉活動計画策定の実際とその課題 ・地域福祉活動計画の評価
		<input type="radio"/> 地域福祉活動計画 II	3	
		<input type="radio"/> 中間報告会(グループワーク)	3	・前期の学びについて事例を基に確認するグループワーク
<input type="radio"/> 最終報告会(グループワーク)		3	・全課程の学びを生かして事例に取り組むグループワーク	
選択科目		実践技法	<input type="radio"/> 地域福祉とファンドレイジング I	3
	<input type="radio"/> 地域福祉とファンドレイジング II		3	
	<input type="radio"/> 協働の手法 I		3	・協働の歴史、協働の事例 ・課題と今後について
	<input type="radio"/> 協働の手法 II		3	
	<input type="radio"/> ファシリテーションの実際とワークショップ運営		3	・ファシリテーションの基礎と実践・ワークショップの設計と運営
	<input type="radio"/> ファシリテーショングラフィック		3	・ファシリテーショングラフィックの基本的技術と実践
	<input type="radio"/> 災害ボランティア論		3	・災害時のボランティア活動が果たす役割・機能を理解する ・災害時のボランティア活動の効率的・効果的なマネジメントについて理解する
	<input type="radio"/> 災害ケースマネジメント		3	・災害時におけるソーシャルワークの必要性とその理論について ・災害時特有の状況と課題を踏まえた災害ケースワークについて ・災害とコミュニティソーシャルワークの関係性について
	<input type="radio"/> 健康格差論		3	・社会環境における健康づくりの理解 ・健康に影響を及ぼす社会経済的要因についての考察
	<input type="radio"/> 傾聴の技法		3	・相談力向上(聴き上手になる)技法 ・ワーカーの持つ価値に係る自己覚知の意義
	<input type="radio"/> コミュニティビジネス		3	・遠隔地域の日常生活を守る「なんでも屋」の挑戦的事例から持続可能性のある地域づくりを探る
	<input type="radio"/> コミュニティ設計		3	・住宅団地設計のもつ狙いとその具現化に必要なソフト事業のコラボを考える
	<input type="radio"/> 東日本大震災と地域福祉		3	・東日本大震災被災地をくまなく歩いて得た知見を共有する
	<input type="radio"/> 臨床宗教学(聴くことのカーカフェでもんくの事例から)		3	・自律する力を生み出させる「聴くこと」を法話から学ぶ
	<input type="radio"/> リスクコミュニケーション		3	・様々なリスクに向き合う住民のスキルを上げる関わりを学ぶ
	<input type="radio"/> 発達障害者支援	3	・発達障害の理解・社会的取り組みの現状と課題	
	特論演習	<input type="radio"/> 特論演習 I A(高齢者支援と地域社会)	3	・地域包括ケアセンターの活動の実際 ・地域包括ケアシステム構築に向けての課題
		<input type="radio"/> 特論演習 II A(生活困窮者支援と地域社会)	3	・生活困窮者自立支援制度の実際と課題
<input type="radio"/> 特論演習 III A(子育て支援と地域社会)		3	・子どもたちが明日に希望が持てる地域社会を目指す	
<input type="radio"/> 特論演習 IV A(障害者支援と地域社会)		3	・障害者を取り巻く地域社会の現状と課題 ・課題解決に向けた方策と目指すべき方向	
<input type="radio"/> 特論演習 VI A(精神障害者支援と地域社会)		3	・精神障害者を取り巻く地域社会の現状と課題 ・課題解決に向けた地域における支援者の役割	
<input type="radio"/> 特論演習 VIII A(SDGs と地域社会)		3	・SDGs と地域社会との関係、活動の実際	
事例研究	<input type="radio"/> 事例研究 I A(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:仙台市を事例として)	3	・仙台市における先取的な事例紹介と演習形式での検討	
	<input type="radio"/> 事例研究 I B(まちづくりとコミュニティソーシャルワーク:南三陸町を事例として)	3	・被災者支援から地域福祉への展開過程を南三陸町の事例に考える	
	<input type="radio"/> 事例研究 II A(女川町を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・地域包括ケアシステムの構築と地域福祉を組み合わせた展開を、女川町を事例に考える	
	<input type="radio"/> 事例研究 II B(柴田町を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・柴田町の地域包括支援センターに寄せられた相談事例等を通して個別支援と地域支援を考える	
	<input type="radio"/> 事例研究 VII(仮設住宅・災害公営住宅を舞台としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・仮設住宅、みなし仮設、災害公営住宅、同郷サロン ・道具的/自己充足的コミュニティ形成	
	<input type="radio"/> 事例研究 IV(地域活動を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・地域活動の先取的な事例紹介	
	<input type="radio"/> 事例研究 V(栗原市若柳を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・人口減少地域の細やかな住民主体の集まりを CSW の知恵が支える	
<input type="radio"/> 事例研究 VI(原発事故被災地を事例としたコミュニティソーシャルワーク)	3	・原発事故被災地での先の見えない生活を支える CSW の振る舞いを考える		

※助成金等の申請状況について(該当するものに☑を付してください。)

1. 助成金等の申請は行わない。
 2. 助成金等の申請を行った(または行う)。(専門実践教育訓練給付金 人材開発支援助成金 その他())